

## ～ゆりかもめ全線で実施～

# 再生可能エネルギー由来の電力100%にて運行

株式会社ゆりかもめ（本社：東京都江東区、代表取締役社長：安部 文洋）は、脱炭素化に向けた取組として、2024年8月1日（木曜日）からゆりかもめ全線での運行に要する電力を全て再生可能エネルギー由来の電力（グリーン電力）とし、実質CO<sub>2</sub>排出量ゼロで運行いたします。

当社はこれまで、車両更新による冷暖房効率の向上、車内照明のLED化のほか、全16駅の照明のLED化を行うなど省エネを進めてきました。駅構内の空調や変電設備等についても、省エネ性能の高いものへ順次更新に取り組んでいます。



当社はこの度、太陽光発電や風力発電、水力発電、地熱発電、バイオマス発電など非化石電源によって発電されたエネルギーの環境価値が証明書として発行されるFIT非化石証書を活用し、実質的にCO<sub>2</sub>排出量がゼロとなる取組を新たに実施いたします。この取組によって、年間約9,040t排出していたCO<sub>2</sub>が実質ゼロとなり、一般家庭の約3,490世帯分（1世帯あたり2.59t-CO<sub>2</sub>で算出）<sup>※1</sup>の年間CO<sub>2</sub>排出量を削減したとみなされます。

当社の運行区間である臨海副都心エリアでは、2030年カーボンハーフ及び2050年カーボンニュートラルの実現に向け、環境保全や脱炭素化に資する取組を官民連携して行っています。臨海副都心エリアに位置し、来年2025年に開業30周年を向かえる当社も、本取組を端緒として、今後も2030年カーボンハーフ及び2050年カーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

詳細は別紙のとおりです。



※1 環境省「令和4年度 家庭部門のCO<sub>2</sub>排出実態統計調査（確報値）」から算出

## 【別紙】

ゆりかもめ全線の再生可能エネルギー由来の電力による実質 CO<sub>2</sub> 排出量ゼロでの運行について

### 1 対象路線の概要

路線名：東京臨海新交通臨海線

区間距離：14.7km（新橋～豊洲駅）

運行本数：平日 500 本、土曜・休日 490 本（1日あたり）

年間輸送人員：45,722,268 人（2023 年度実績）

年間使用電力量：約 2,000 万 kWh（2023 年度実績）

### 2 本取組により実質 CO<sub>2</sub> 排出量ゼロになる範囲

ゆりかもめ全線における列車運行のほか、駅等で使用する電力

### 3 本取組による年間 CO<sub>2</sub> 排出削減量

約 9,040t（見込み）

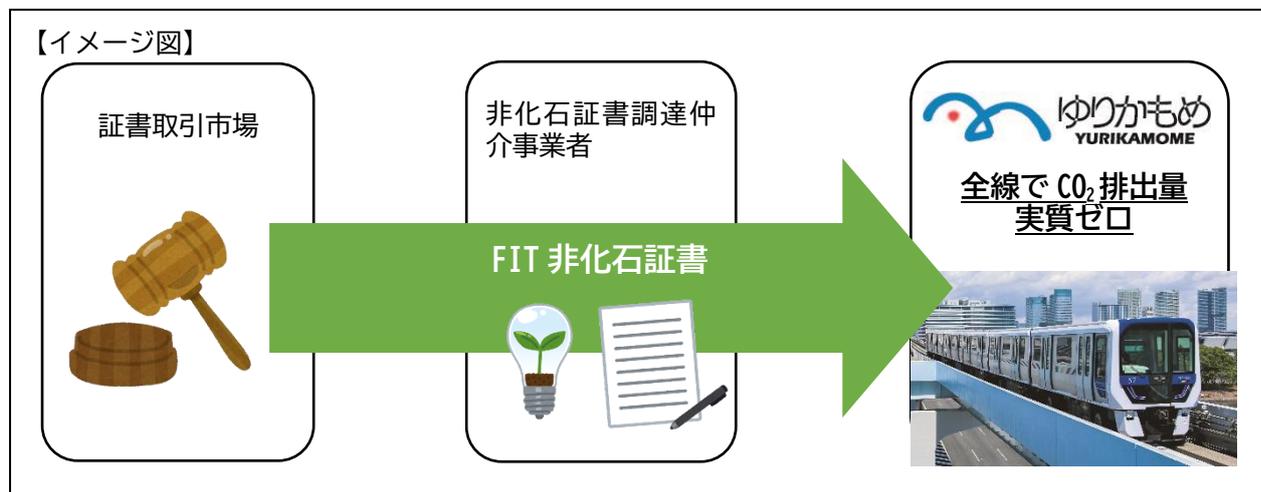
### 4 実施開始日

2024 年 8 月 1 日（木曜日）から

### 5 FIT 非化石証書について

FIT 制度※<sub>1</sub>によって電気事業者に買い取られた再生可能エネルギー源（太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス）によって発電された電気の環境価値を証明書として発行するもので、電源種や発電所所在地などの付加価値的な属性情報が明らかになったもの

※1 再生可能エネルギーの固定価格買取制度



以上



#### 【お問合せ先】

株式会社ゆりかもめ 技術部電気保安課 電話：03-3529-7785（直通）

総務部総務課 電話：03-3529-7776（直通）